

あけぼの山周辺地域懇談会 第2回資料

あけぼの山公園 及び 柏市あけぼの山農業公園



本日の内容

1. 柏市制施行70周年記念事業
2. 前回の振り返り
3. 将来像（ビジョン案）
4. 意見交換

1. 柏市制70周年記念事業



柏市制施行70周年記念事業

1 目的

柏市制施行70周年、柏市あけぼの山農業公園の開園30周年を記念し、1か月間において『あけフェス(イベント)』を実施した。

公園の認知度向上、集客数増加、回遊性向上と滞在時間の延長

2 テーマと期間

テーマ：柏市制施行70周年記念事業のコンセプトである「感謝と期待」

期間：令和6年10月1日(火)～令和6年10月31日(木)

10月は #あけフェス  



市制70周年記念事業の概要

3 主な事業

ランタンナイト



240個のランタン打上

- ・参加者約800人※当選倍率7倍
- ・観客者約1,000人

串フェス



ランタンに合わせ昼夜間
で食のイベントを開催
キッチンカー等65店舗

パンフェス



市内外のパン屋37店舗
キッチンカー10店舗

ゆるキャラ



県内で70周年を迎える
各市のゆるキャラが集結
140名が参加

お仕事体験



花屋、消防、公園のお仕事
3つの職業体験イベントを実施
100名の子どもが参加

クイズラリー



公園全体を知ってもらいたい
という思いから企画
163名が参加

デコパーク



園内を花等で装飾して
フотスポットなどを設置

ミライノ木



未就学児を対象に、
身長の高さに葉っぱを貼って
一つ作品を製作

市制70周年記念事業の概要

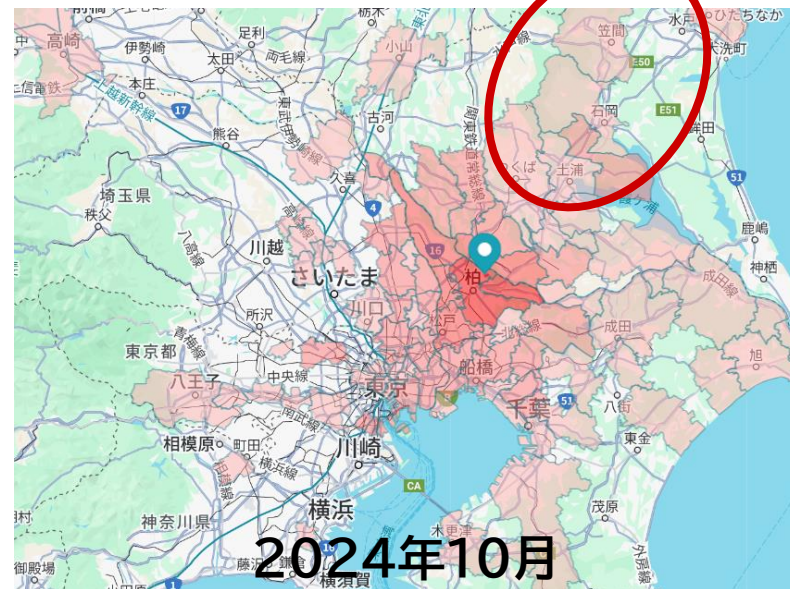
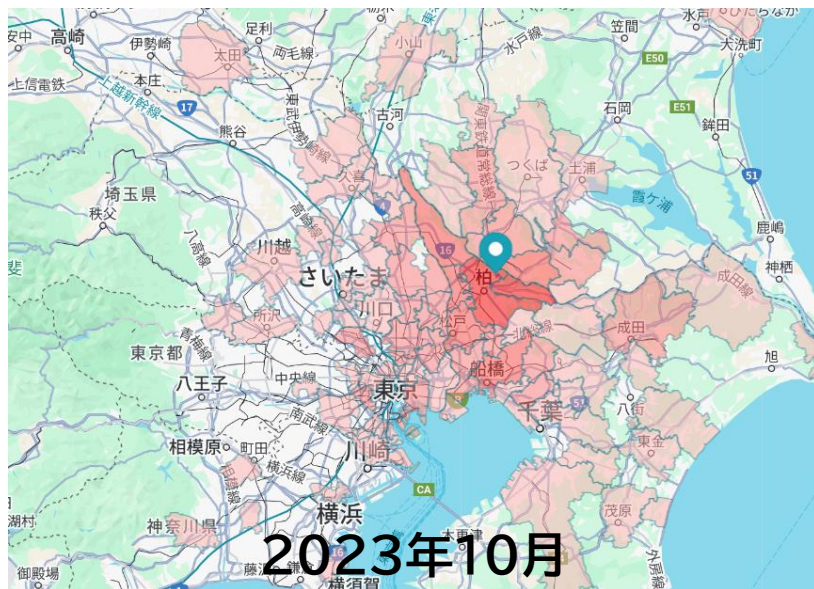
4 ランタンナイトの状況(動画2分)



市制70周年記念事業の概要

5 事業の結果

茨城県の来園者割合(TX沿線)が増加した。9%→13%



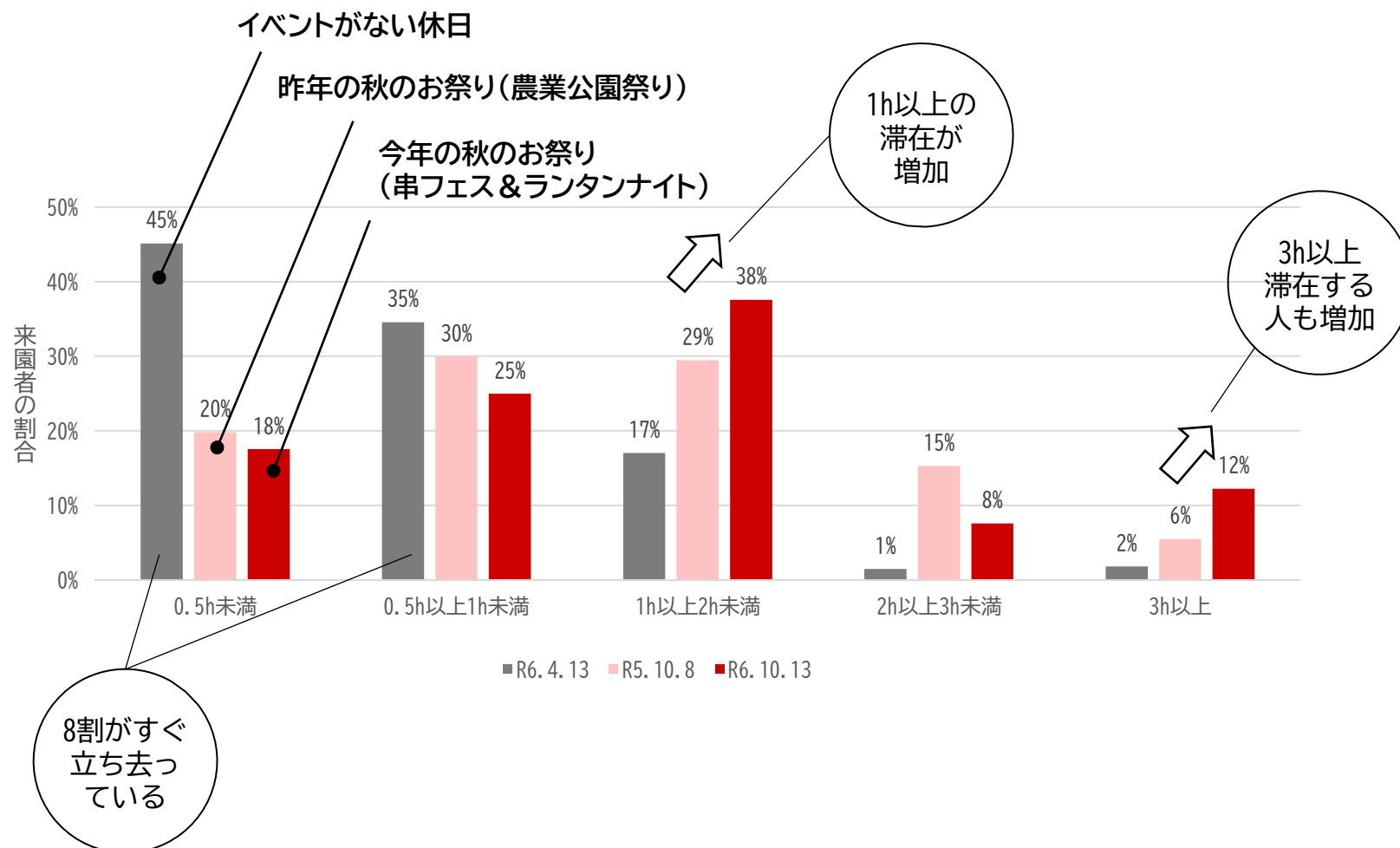
串フェス&ランタンナイトは、若者にも魅力的なイベントであった。

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
2023年10月平均	5%	12%	19%	14%	14%	36%	100%
2024年10月平均	4%	12%	20%	17%	15%	32%	100%
2024年10月13日 串フェス&ランタンナイト	9%	15%	23%	17%	12%	23%	100%

市制70周年記念事業の概要

5 事業の結果

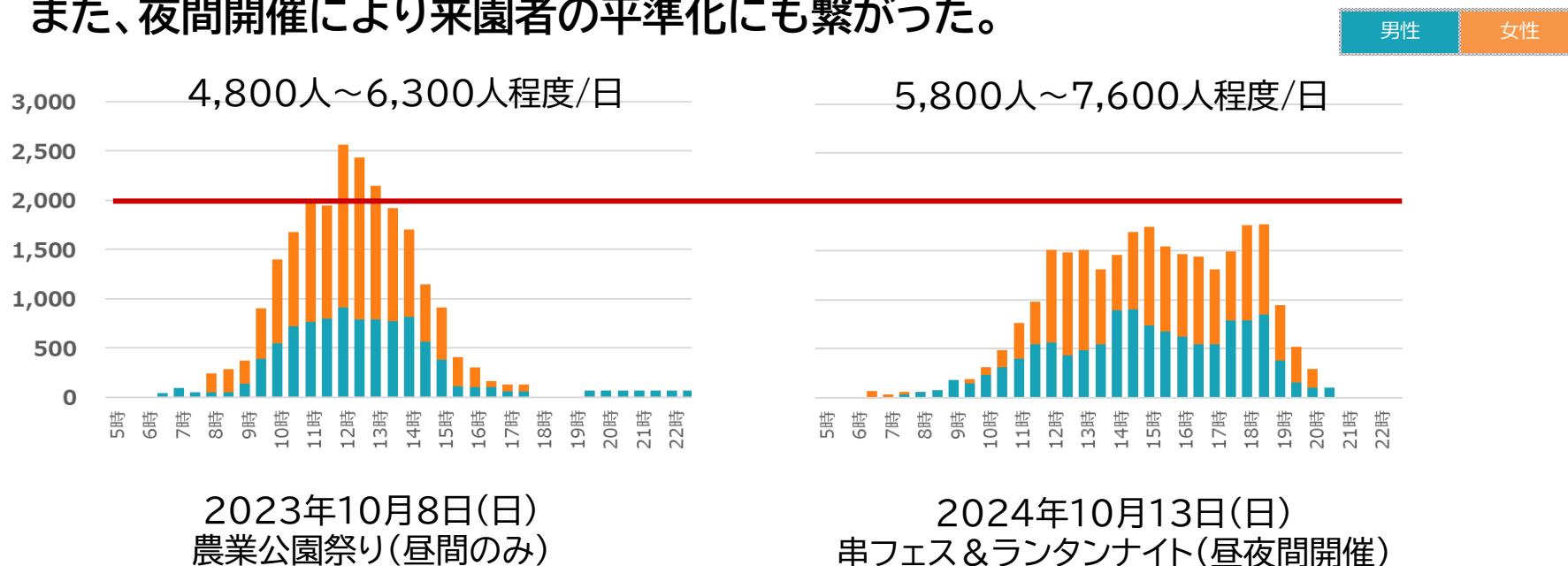
花の季節における滞在時間の比較



市制70周年記念事業の概要

5 事業の結果

ランタンナイトを開催した10月13日は、昨年度に比較して来園者数が増加した。
また、夜間開催により来園者の平準化にも繋がった。



気づき

- 様々なイベントを行うには、広がりのある空間も大切である
- ランタン(夜間)など、特色あるイベントを開催すれば、若い層・広域にも訴求できる
- あけぼの山でも有料イベントによる集客が可能である(ランタン当選倍率7倍)
- 毎年同じではなく、新しい変化、新しい楽しみ方も必要である

2. 前回の振り返り



1 公園デザイン

1. 公園の強み
2. 魅力の強化
3. 名称とデザイン

2 公園サービス

1. ソフト事業の展開
2. 魅力ある施設配置
3. 公園と農業の連携

3 公園マネジメント

1. 公園区域の明確化と都市公園指定
2. 官民連携と持続可能な公園運営
3. 道路・駐車場整備などアクセス強化

1-1 公園の強み

発言一覧

- あけぼの山には、花畑の景観や自然の豊かさに魅力を感じ、多くの人々が訪れている。
- あけぼの山の花畑や桜の写真が、観光協会のカレンダーで多く選ばれており、あけぼの山公園は魅力とポテンシャルが豊富であり、ロケ地にも優れている。



① 現状の認識

- **花畑や自然の豊かさが魅力的**であり、広域で、多くの人を惹きつけている。
- 柏市にとって**貴重な観光資源**であり、**景観や自然のポテンシャルが高く評価**されている。

② あるべき姿

- 多くの人を魅了する花や自然の**良好な景観を、観光資源として活かしていくべき**(観光資源の活用)
- ロケなども活用しながら、多くの人**が公園や景観を認知する機会を増やすべき**(プロモーションの強化)

1-2 魅力の強化

発言一覧

- 花畑以外の魅力が不足しており、花が美しい時期以外は訪れる人が少ない。また訪れた人々は花畑を見た後すぐ帰ってしまい、長時間楽しんでほしいと感じる。
- 一方で、営農組合では花の見ごろが続くよう植栽時期を工夫している、市で設置したトライアルガーデンにより花好きの来園者が増加している。
- 湿地もあり、色々な植物もあり、楽しめる場所である。これらのメリットを活かして子どもや若者が楽しめる場所にすることが将来につながる。
- 特色ある農産物の販売、管理手間が少ないナチュラルスティックガーデン、アジサイといった季節の花など、年間通じて花や見どころがある公園を整備し、魅力を高めるべき。



① 現状の認識

- 花畑以外の**魅力が弱く**、結果、**滞在時間が短い**、**花の季節以外は来園者が少ない**状態となっている。
- 将来の顧客層である**若年層が魅力に感じるほどの場所になっていない**。

② あるべき姿

- **1年で様々な見所がある**、**滞在時間が延びるような見所がある公園**にすべき。(新たな見所)
- 子どもから大人まで**多世代が魅力に感じる**場所を創出するべき。(多世代に愛される公園)

1-3 名称とデザイン

発言一覧

- 2つの公園について、広域の視点も持ちながら、公園、農地、花畑、弁天様を一体的に捉えた全体のコンセプトやデザインを再検討すべきではないか。
- 公園エリア全体のコンセプトに基づいた周遊ルートをデザインすることで、エリア全体の回遊性が向上し、健康増進にもつながる。
- 誘客や案内の観点からも、例えば「フラワーパーク」のような名称の一本化と全体コンセプトは重要であり、回遊性の向上や地場製品の販売促進に繋がる。
- 道路、駐車場、公園を一体的に考えて、整備を進めていくべきではないか。



① 現状の認識

- そもそも都市公園と農業公園が**名称すら異なる**など、**統一的な誘客実施やデザイン構築等ができていない**。
- 各施設がバラバラに存在するなど、**来園者の回遊性や快適性に乏しい公園デザイン**となっている。

② あるべき姿

- 認知度を高める観点からも、**名称を統一(例えば「フラワーパーク」)すべき**。(公園名称の統一)
- 公園や地域全体を俯瞰して、**将来像とデザインを再構築すべき**。(全体デザインの再構築)

2-1 ソフト事業の展開

発言一覧

- あまり活用されていない施設がありもったいない。園芸教室や子どもがバスで来るような機会を設ければ、利用率が向上するのではないか。
- 昼だけでなく、夜のイベントとか、地域イベントとの連携した公園イベントの開催、文化や登り窯を活かしたアートで公園の魅力を高め、通年の集客を高めてはどうか。
- 子ども向け体験活動や農業教育、布施弁天住職の講和など教育プログラムを通じ、地域と公園の活用を促進するべき。



① 現状の認識

- 色々な施設があるものの、**有効に活用できていない**。
- 通年して来園したいと思えるような**コンテンツの魅力に欠ける**。

② あるべき姿

- 施設も活用しながら、**魅力的なイベントを提供**して、集客を高めていくべき。(魅力あるイベント実施)
- **地域と連携した活動を強化**し、公園の利用促進と地域活性化を図るべき。(地域との連携強化)

2-2 魅力ある施設配置

発言一覧

- 全国では公園の再整備が求められる時代であり、あけぼの山も施設の老朽化が進んでおり、リニューアルが必要ではないか。
- アクセス改善と連動して、点在する施設を一つに集約するべきである。特に道の駅のような魅力的な建物整備は重要である。
- サッカー場は、農業振興に貢献せず、むしろ迷惑がかかっており、なんとかしてほしいとの声がある。
※一方で、ランタンナイトのような集客力のあるイベントでは、広いスペースも必要となる。



① 現状の認識

- 施設の老朽化や施設の分散が、**公園の魅力や利便性の低下を引き起こしている。**
- 全国では、公園の持続可能性の観点から、**施設のリニューアルが進められている。**

② あるべき姿

- **施設更新や統廃合を進め、利用しやすい、活用しやすい公園にすべき。**(施設更新と統廃合)
- アクセスと連動した**物販・飲食・情報提供等が提供される建物を整備**すべき。(観光拠点機能の強化)

2-3 公園と農業の連携

発言一覧

- 市のまちづくり公社などが農地を一括借り上げ、花や緑、果樹の収穫体験施設を作るべきではないか。
- 公園の整備によってファミリー層の来園が増え、観光農園の需要が拡大する。また、その需要拡大が他の農家の活性化に寄与することを期待したい。
- 高齢化対策や後継者育成に若者を巻き込み、農業の持続可能性や新規品目での産業資源化を推進したらどうか。



① 現状の認識

- 高齢化や農業後継者不足が進行しており、**今後の営農や組合の存続に懸念**がある。
- **公園の魅力を高め、農業への波及効果を高めたい。**

② あるべき姿

- 体験型の観光農業など、**公園と農業が連携した魅力向上を図るべき**。(体験型観光農業)
- 若者を巻き込み、**農業の持続可能性を高める**べき。(持続可能な農業)

3-1 公園区域の明確化と都市公園指定

発言一覧

- 公園と農地の区域を明確化し、今後の方向性を検討する必要がある。また合わせて条例改正を行うべき。
- まとまった場所に広い面積がある点がポテンシャルである。一方で、どこまで公園か分からない、誰が管理しているかも分からない状況であり、まずは土地問題の解決が優先されるべき。
- 農業振興区域の除外手続きが必要であるが、その影響として土地所有者の負担増加が懸念される。
- 農業公園を都市公園に指定し、再整備や災害時復旧における財源確保も視野に、持続可能な運営を目指すべき。



① 現状の認識

- **どこが公園でどこが民地か分からない**ため、どこを歩いてよいかも分かりにくいなど、**園内の移動や回遊性にすら課題を抱えている**。
- さらに、公園区域の不明確さが、**計画的な公園整備や財源確保にも影響を及ぼしている**。

② あるべき姿

- どこまでを公園として面的に整備・管理するのか、**公園区域の外縁を明らかにすべき**。(公園区域の明確化)
- 農業振興地域の除外も視野に、**当該区域の都市公園として都市計画決定を検討すべき**。(都市公園の指定)

3-2 官民連携と持続可能な公園運営

発言一覧

- 管理における草刈や植栽メンテナンスは体制が不十分であり、負担も大きい。開園時に有料化してもよかったのではないかな。
- 運営に関して、赤字イベントの改善や運営費確保、効率化を進め、民間との連携も含めた持続可能性を高める方策を検討すべき。



① 現状の認識

- 公園運営における**管理は負担が大きく、効率化や財源確保が必要**がある。
- 今後の**ハード整備や災害復旧に対する財政的支援の確保**を検討する必要がある。

② あるべき姿

- 公園管理の効率化を進めつつ、**財政的にも持続可能な公園運営を行うべき**。(公園経営の改善)
- **民間活力も活かしながら、持続可能な運営体制を築くべき**。(公民による公園運営)

3-3 道路・駐車場整備などアクセス強化

発言一覧

- 公園に向かう際に迷ってあぜ道を通ることや道路が混雑して苦勞を伴うことへの不安がある。
- 駐車場が十分に足りていないのではないかと、雨天時は使えない駐車場もあるなど、駐車場に課題がある。
- 観光や小学生の校外学習など、バスの受け入れは重要である。バス回轉場は、広い芝生広場を活用するといったのではないかと。



① 現状の認識

- 道路混雑や駐車場不足など、**交通問題が公園周辺の地域と来園者に不便を強いている。**
- バスが通行しにくい、駐車しにくいなど、**道路と駐車場に課題**がある。

② あるべき姿

- 生活に影響を及ぼしている**道路混雑を緩和するため、新たな道路を整備すべき。**(アクセスの改善)
- 多くの来園者やバスの受け入れが可能な**駐車場を整備すべき。**(駐車場の改善)

【意見の総括】 1 公園デザイン

1. 公園の強み

- 観光資源の活用 多くの人を魅了する花や自然の**良好な景観を、観光資源として活かしていくべき。**
- プロモーションの強化 ロケなども活用しながら、多くの人**が公園や景観を認知する機会を増やすべき。**

2. 魅力の強化

- 新たな見所 **1年で様々な見所がある、滞在時間が延びるような見所がある公園**にすべき。
- 多世代に愛される公園 子どもから大人まで**多世代が魅力に感じる**場所を創出するべき。

3. 名称とデザイン

- 公園名称の統一 認知度を高める観点からも、**名称を統一(例えば「フラワーパーク」)**すべき。
- 全体デザインの再構築 公園や地域全体を俯瞰して、**将来像とデザインを再構築**すべき。

【意見の総括】 2 公園サービス

1. ソフト事業の展開

- 魅力あるイベント実施 施設も活用しながら、**魅力的なイベントを提供**して、集客を高めていくべき。
- 地域との連携強化 **地域と連携した活動を強化**し、公園の利用促進と地域活性化を図るべき。

2. 魅力ある施設配置

- 施設更新と統廃合 **施設更新や統廃合を進め、利用しやすい、活用しやすい公園にすべき。**
- 観光拠点機能の強化 アクセスと連動した**物販・飲食・情報提供等**が提供される建物を整備すべき。

3. 公園と農業の連携

- 体験型観光農業 体験型の観光農業など、**公園と農業が連携した魅力向上を図るべき。**
- 持続可能な農業 若者を巻き込み、**農業の持続可能性を高める**べき。

【意見の総括】 3 公園マネジメント

1. 公園区域の明確化と都市公園指定

- 公園区域の明確化 どこまでを公園として面的に整備・管理するのか、**公園区域の外縁を明らかにすべき。**
- 都市公園の指定 農業振興地域の除外も視野に、**当区域を都市公園として都市計画決定を検討すべき。**

2. 官民連携と持続可能な公園運営

- 公園経営の改善 公園管理の効率化を進めつつ、**財政的にも持続可能な公園運営を行うべき。**
- 公民による公園運営 **民間活力も活かしながら、持続可能な運営体制を築くべき。**

3. 道路・駐車場整備などアクセス強化

- アクセスの改善 生活に影響を及ぼしている**道路混雑を緩和するため、新たな道路を整備すべき。**
- 駐車場の改善 多くの来園者やバスの受け入れが可能な**駐車場を整備すべき。**

3. 将来像(ビジョン案)

- マスタープラン -



1 公園デザイン

1. 公園の強み

観光資源の活用

多くの人を魅了する花や自然の良好な景観を、観光資源として活かしていくべき。

プロモーションの強化

ロケなども活用しながら、多くの人が公園や景観を認知する機会を増やすべき。

『豊かな自然や美しい
花畑の景観』が、
多くの人を魅了し、

柏市が誇る
観光地となっている。

ビジョン1

2. 魅力の強化

新たな見所

1年で様々な見所がある、滞在時間が延びるような見所がある公園にすべき。

多世代に愛される公園

子どもから大人まで多世代が魅力に感じる場所を創出するべき。

子どもから大人まで
多世代が訪れ、
年間を通じて、
一日楽しむことができる
公園になっている。

『またここで
過ごしたい
いつか訪れ
てみたい』
と思える
ような

3. 名称とデザイン

公園名称の統一

認知度を高める観点からも、名称を統一(例えば「フラワーパーク」)すべき。

全体デザインの再構築

公園や地域全体を俯瞰して、将来像とデザインを再構築すべき。

新たな将来像、
ネーミングのもと、
風景と調和したデザインが
記憶に残る魅力的な
公園となっている。

人を惹き
つける風景、
心地よい場所
がある公園

2 公園サービス

1. ソフト事業の展開

魅力あるイベント実施

施設も活用しながら、魅力的なイベントを提供して、集客を高めていくべき。

地域との連携強化

地域と連携した活動を強化し、公園の利用促進と地域活性化を図るべき。

施設の活用、地域連携、
新たなチャレンジにより、
魅力的な事業が展開され
公園が変化し続けている。

ビジョン2

2. 魅力ある施設配置

施設更新と統廃合

施設更新や統廃合を進め、利用しやすい、活用しやすい公園にすべき。

観光拠点機能の強化

アクセスと連動した物販・飲食・情報提供等が提供される建物を整備すべき。

施設と機能が再編され、
多くの人の来園動機となる
魅力的な施設が
公園の顔として
機能している。

『毎年、
季節ごとに
新しい変化・
発見』があり
それを目的に
広域から
人が集まり、
賑わって
いる公園

3. 公園と農業の連携

体験型観光農業

体験型の観光農業など、公園と農業が連携した魅力向上を図るべき。

持続可能な農業

若者を巻き込み、農業の持続可能性を高めるべき。

公園に来園した
若者やファミリー層が、
公園外の持続可能な
農業の実現と地域経済の
活性化に寄与している。

3 公園マネジメント

1. 公園区域の明確化と都市公園指定

公園区域の明確化

どこまでを公園として面的に整備・管理するのか、公園区域の外縁を明らかにすべき。

都市公園の指定

農業振興地域の除外も視野に、当該区域を都市公園として都市計画決定を検討すべき。

公園区域が整理され、課題の解決が進み、

公園運営と営農活動が、あけぼの山エリア全体の価値向上に繋がっている

2. 官民連携と持続可能な公園運営

公園経営の改善

公園管理の効率化を進めつつ、財政的にも持続可能な公園運営を行うべき。

公民による公園運営

民間活力も活かしながら、持続可能な運営体制を築くべき。

都市公園の指定、公園経営の改善と効率化、公民連携などにより、持続的な公園運営が可能となっている

3. 道路駐車場整備などアクセス強化

アクセスの改善

生活に影響を及ぼしている道路混雑を緩和するため、新たな道路を整備すべき。

駐車場の改善

多くの来園者やバスの受け入れが可能な駐車場を整備すべき。

交通や駐車場のインフラが整備され、誰もが行きやすく、利用しやすい公園となっている。

ビジョン3

公園区域、交通、公園運営などが改善し『持続的なまちづくり』を推進している公園

市民の豊かな生活の実現

この公園が、市民(来園者)にとって、
大切なひとときを過ごす場所であり、
幸せを感じ(安らぎやワクワク感)、
日々の活力を得ることができる場所となる

ビジョン1

『またここで過ごしたい
いつか訪れてみたい』
と思えるような
人を惹きつける風景、
心地よい場所がある公園

ビジョン2

『毎年、季節ごとに
新しい変化・発見』があり
それを目的に
広域から人が集まり、
賑わっている公園

ビジョン3

公園区域、交通、
公園運営などが改善し
『持続的なまちづくり』
を推進している公園

4. 意見交換



- ① 前回の振り返りについて、不足の点、追加意見、お考えがあればお願いします。
- ② 公園が目指す将来像について、ご意見をお願いします。
 - ・ ビジョン1、ビジョン2、ビジョン3
- ③ 将来像の実現に向けたアクションについて、ご意見をお願いします。
(第3回でも更に掘り下げて、ご意見いただきます。)
- ④ その他追加意見等ありましたら、ご意見をお願いします。

アクションのイメージ（事業例）

※第1回懇談会でいただいた意見など

ビジョン1

『またここで過ごしたい
いつか訪れてみたい』
と思えるような
人を惹きつける風景、
心地よい場所がある公園

『豊かな自然や美しい花畑の景観』が、多くの人を魅了し、
柏市が誇る観光地となっている。

子どもから大人まで多世代が訪れ、年間を通じて、
一日楽しむことができる公園になっている。

新たな将来像、ネーミングのもと、風景と調和したデザインが
記憶に残る魅力的な公園となっている。

➡ロケの誘致

➡ナチュラルガーデンを整備

➡専門家によるデザイン

ビジョン2

『毎年、季節ごとに
新しい変化・発見』があり
それを目的に
広域から人が集まり、
賑わっている公園

施設の活用、地域連携、新たなチャレンジにより、魅力的な事
業が展開され公園が変化し続けている。

施設と機能が再編され、多くの人々の来園動機となる魅力的な
施設が公園の顔として機能している。

公園に来園した若者やファミリー層が、公園外の持続可能な
農業の実現と地域経済の活性化に寄与している。

➡プロによる園芸教室の開催

➡飲食サービスの提供

➡パークコンシェルジュによる
観光農園の案内

ビジョン3

公園区域、交通、
公園運営などが改善し
『持続的なまちづくり』
を推進している公園

公園区域が整理され、課題の解決が進み、公園運営と営農活
動が、あけぼの山エリア全体の価値向上に繋がっている。

都市公園の指定、公園経営の改善と効率化、公民連携などに
より、持続的な公園運営が可能となっている。

交通や駐車場のインフラが整備され、誰もが行きやすく、
利用しやすい公園となっている。

➡公園区域の設定

➡Park-PFI導入

➡分かりやすい駐車場の整備